

# 折紙探偵団新聞

2000年8月5日（土）

号外

by MAEKAWA

お約束(?)の号外をどうぞ。  
それにしても暑いです。ポール・ジャクソンさん、ダニエル・ロビンソンさん初め、来日中の海外の方は、ニッポンの暑さに呆れていることでしょう。ニホン人も呆れています。  
たぶん、ニホンカモシカもニホンカワウソも呆れていません。

## 日本折紙学会総会

第1回の日本折紙学会総会が開かれ、日本折紙学会規約等が承認されました。これにより、日本折紙学会が、正式に規約に沿って活動をする事になりました。  
なお、総会では、折紙作品データベース作成・先取権研究、購読者増大の方策などに関して質疑応答がありました。議事録は別に作成してあります。  
以上、簡単な総会の報告でした。  
「そうかい」  
って、小学生みたいな駄洒落はやめなさいっ！

## 講演会

コンベンションの初日は、昨年も好評だった講演会で、芳賀和夫氏、伏見康治氏、川村みゆき氏と、「日本評論社」トリオ(「オリガミクス」「折り紙の幾何学」「多面体の折り紙」)の豪華共演となりました。

まず、芳賀和夫先生は、紙を折って数理を楽しむ「オリガミクス」の一端を紹介してくれました。講演会を聴かれたみなさん、A4やB5のコピー用紙を七等分しまくってください。なお、講演後の著書サイン会では、用意した本を完売しました。



(写真：サイン会にできた長蛇の列)

続いて伏見康治先生は、長方形用紙による畳紙、貧者のダイヤモンド(正八面体)、飛行する鶴を講習・実演されました。91歳というのは信じられません。超人です。



(写真：鶴を飛ばす伏見先生。見事に飛んでいます。なお、この鶴は某氏の折鶴コレクションに加えられました)

川村みゆきさんは、折り紙とペーパークラフトの中間にある技法を説明し、「ユニットクラフト」、「Paper Mani-folding」という造語を提案しました。



(写真：作品を掲げて説明する川村さん。手前は、立石さんの後頭部。ってなんやねん、それ)

川村さんは、先端恐怖症ならぬ、紙の端(小口)恐怖症で、それゆえに折り紙が好きだという事実も明らかになりました。「ハサミが嫌いなので折り紙が好き」という話は何回か聞いたことがありますが、「紙の縁が嫌いなので、折るのが好き」という話は初めて聞きました。「正方形が好きなので折り紙が好き」、「矢印が好きなので折り紙が好き」、「点線と鎖線が好きなので折り紙が好き」、というひともいるかもしれません。

## 告知

お渡ししたプログラムに記述していませんが、6日C教室2コマ目、「光のブーケ」(橘高さん)に参加される方は、「好きな色のサインペンかボールペン(細字)」をご持参ください。